

「出会いは人を変え、人生を変える」

# 校長だより

平成31年3月20日(水)

第28号

「我が子を入れたくなる学校をつくりたい」(初代校長) 那覇西高等学校長 長濱 雅仁  
「いつも太陽の光に顔を向けていれば、影を見ることはありません」 - ヘレンケラー -

” Once we share goals, we are all brothers and sisters ! ”

率先垂範：子どもは親や教師の「言う通り」にはならないが「する通り」になる。

師弟同行：価値観は言葉以上に、実行している人の姿によって伝えられる。 **以上渡辺和子氏**

## ◇学校行事、大会結果、イベント等

- 1月5日に本校3期生の同窓会が開催されましたが、その時の収益金が3月15日に同窓会役員から贈呈されました。これを機会に母校である那覇西高校を応援していきますとのことでした。
- 17日浦添総合体育館で開催された第9回KBC学園杯高校春季ハンドボール選手権大会男子ハンドボール部が優勝しました。高校総体でいよいよ宿敵興南高校との夢の対決となります！
- 17日男子ソフトテニス部が美ら島総体記念大会で優勝しました。
- 18日～22日水球部8名が沖縄選抜としてU17かしわざき潮風カップに出場します。全国制覇にむけての足掛かりとなる大会です。皆で応援しましょう！
- 22日～30日女子ハンドボール部が全国選抜に出場します。九州大会では惜しくも2位となり優勝を逃しましたが、今回は「己を**律して**勝ちにいく」(律顧問) そうです。**うりひゃー!**
- 澤岬茜さん(2-8)が22日～26日平成30年度青少年赤十字スタディ・センター研修(山梨県)に県代表として派遣されます。献血でも那覇西は県内トップの献血者数です。世のため人のために！
- 校内外の**小さな変化・成果**に皆さん、気がつきましたか？
- 3月1日の卒業式後に卒業生の祖父(シンバホールディングス株式会社社長)が18日(月)に来校され、「孫の卒業式に出席したが、挨拶、クラス毎の担任へのお礼の言葉、聞く態度、仰げば尊しの歌、厳粛な中にも感動が溢れており、素晴らしい卒業式でした。先生方一人一人にお礼が言いたかった。」との熱い思いを聞くことができました。ぜひとも在校生の皆さん伝統の継承を！3学年の**上原丸**(静香先生)並びに3学年の担任の先生方、そして各部署で頑張ってくれた先生方お疲れさまでした。

## 欠点を補って余りある長所を伸ばそう！

昔は「巨人の星」という野球漫画(テレビ番組)が人気絶頂で「星飛雄馬、星一徹」の超スパルタ指導が大流行しました。「大リーグボール養成ギブス」なるものも登場し、即席のエキスパンダーで道具をつくり試してみましたが、背中のおちこちにカンパチ(擦り傷)をつくったものです。

ところで、最近気づいたことがあります。昨今の人は短所を気にしすぎるあまり、なかなか自身の長所のほうに目を向けていないのではないかと思います。「短所あることを喜び、長所なきことを悲しめ」というのはいいすぎでしょうか。短所を矯正することは大変な時間と労力を要すると校長は思っています。どうにかできたとしても長所まで高めることはむづかしいものです。それよりは長所を伸ばしていくことのほうが、容易いと思っています。県のある教育委員の先生がかつて「あの先生は欠点も多いが、その欠点を補って余りある長所を有している。それが彼の魅力である。」「短所・欠点ばかりを指摘していると、委縮するばかりか、己の保身ばかりを考えるようになり、沖縄のためにならないのだ。」と話していたそうです。

現役で今なお、大リーグ選手であるイチロー選手は父親とのトスバッティングで何でもフェイントをかけられ、あのような独特のフォームがつけられたそうです。しかし、当時の監督は「フォームを直さなければ一軍には上げない」と言明していたため二軍暮らしでした。しかし、イチロー選手はそれでも自分の信念を曲げませんでした。数年後、監督が代わり(仰木監督)、その監督から評価されすぐに一軍に昇格し、後に首位打者、最多安打数で日本記録を何度も塗り替える大打者になったのです。

世の中が保身ばかり考えるような風潮になると「巨人の星」の主人公親子の名前は変えないといけませんね。名前ですか？もちろん「**保身一徹、保身飛雄馬**」になるのです。だから「出会いは人を変え、人生を変える」のです。わかるよね！ウグ！

指導者の心に火が灯らなければ、選手の上に火は灯らない。(能代工高バスケ元監督 加藤廣志氏)